

行田花手水と連動した商店街の回遊及び消費促進事業（行田市）

【目的】

本市の主要観光コンテンツ「行田花手水week」及び「ライトアップイベント『希望の光』」を目的とした来訪を消費につなげる仕組みを構築することで、観光消費の拡大、ひいては商店街等まちなかの活性化を図ることを目的とする。

【概要】

まずは、インフルエンサーによる商品開発・改善支援セミナーの開催や商品開発等に対する費用補助を通じて、映える魅力的な飲食関連商品を創出する。そのうえで、「行田花手水week」及び「ライトアップイベント『希望の光』」と連動した「商店街食べ飲み歩き企画」の実施やヴェールカフェ及び商店街等の光のデジタルアートなどを行い、商店街をはじめとしたまちなかへの人の流れを創り、消費促進に繋げ、活性化を図る。

1 受入体制整備事業(198万円)



Web検索ツールへの掲載等伴走支援

2 コンテンツ開発・強化事業(161万円)



- ・インフルエンサーによるセミナー開催
- ・商品開発等補助
- ・食べ飲み歩きチケット制作
- ・食べ飲み歩き参加店目印制作

3 イベント開催事業(781万円)



- ・ヴェールカフェや商店街等まちなか拠点の光のデジタルアートによる回遊促進及びナイトタイムエコノミー創出
- ・花手水足湯による消費促進

4 プロモーション事業(360万円)



- ・インフルエンサーによる情報発信
- ・旅アトでの情報発信促進
- ・熊谷駅等での多言語観光プロモーション動画の放映やパンフレットの配架

商店街等
まちなかの
活性化

要望額：750万円（総事業費：1,500万円） 補助率：1/2